

第2章 人権に関する市民意識調査の結果概要

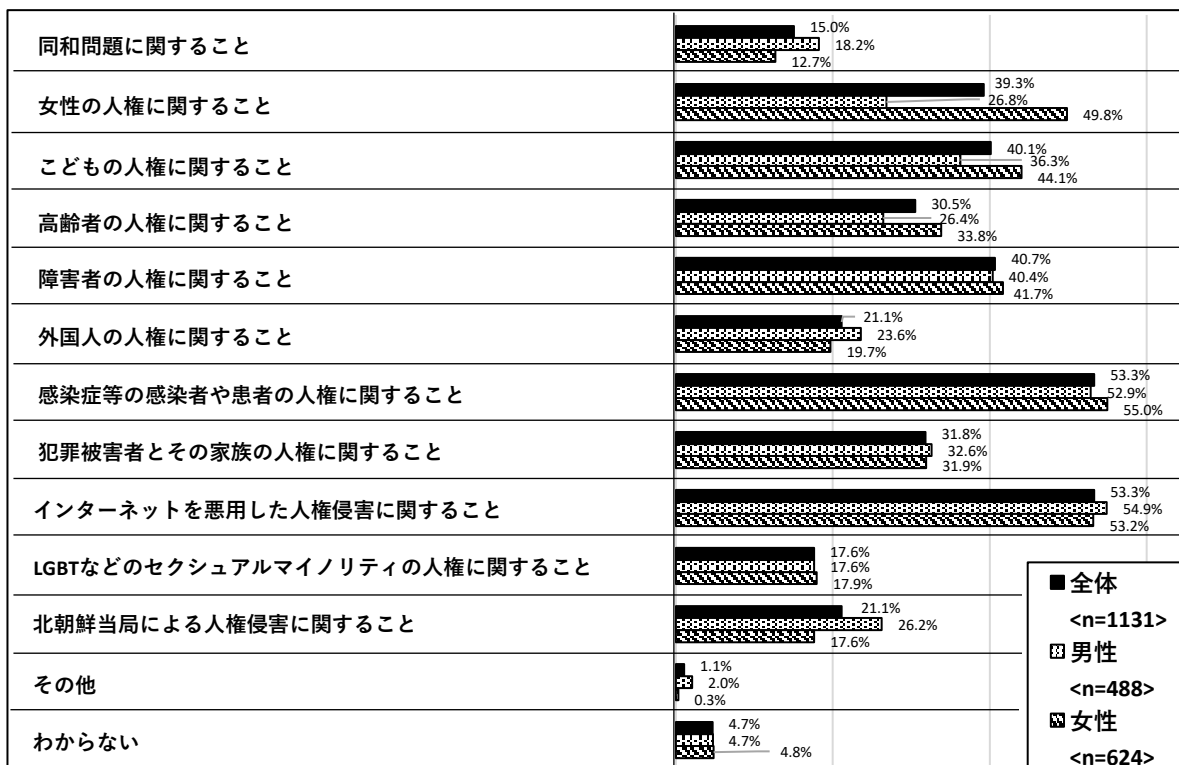
本計画の策定にあたり、令和2年9月に「人権に関する市民意識調査」を実施しました。以下は、その結果の概要です。

調査対象	市内在住の20歳以上の方
標本数	2,500人
抽出方法	住民基本台帳を基に層化無作為抽出
調査方法	郵送による配布／郵送・ウェブによる回収
有効回収率	45.2%
調査時期	令和2年(2020年)9月

(1) 人権に関する一般的意識

設問：日本における人権課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。

「感染症等の感染者や患者の人権に関すること」(53.3%)と「インターネットを悪用した人権侵害に関すること」(53.3%)が5割を超えて最も関心が高くなっています。このほか、「障害者の人権に関すること」(40.7%)、「こどもの人権に関すること」(40.1%)、「女性の人権に関すること」(39.3%)と続いています。

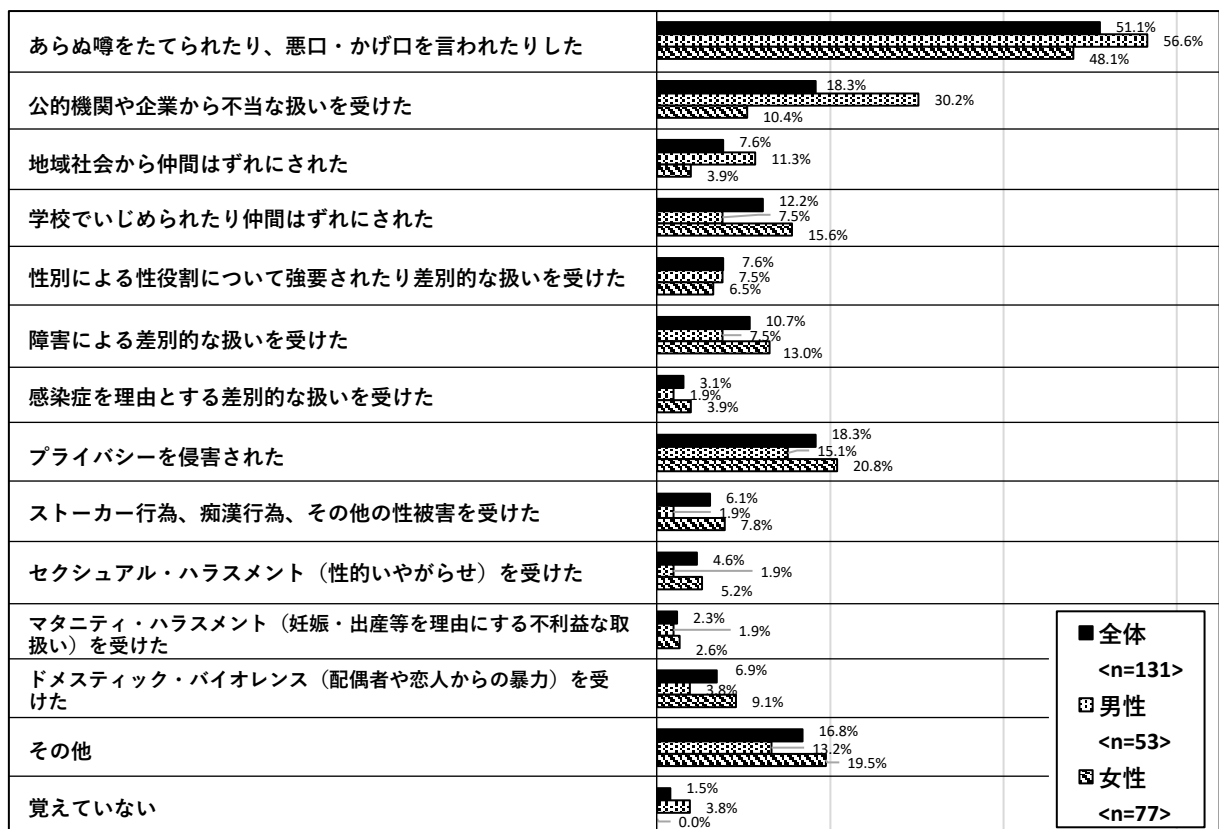
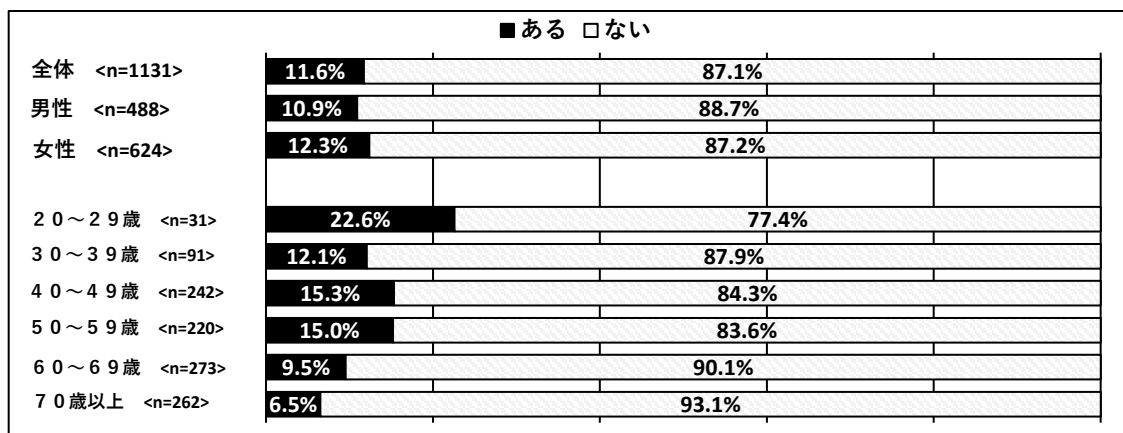


(2) 人権侵害の経験

設問：あなたはここ5年間に、自分や自分の家族の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

ここ5年間で自分や家族の人権を侵害されたと思ったことが「ある」と回答した人は11.6%で、10人に1人の割合です。男性より女性、特に若年層に人権侵害の経験が多くなっています。

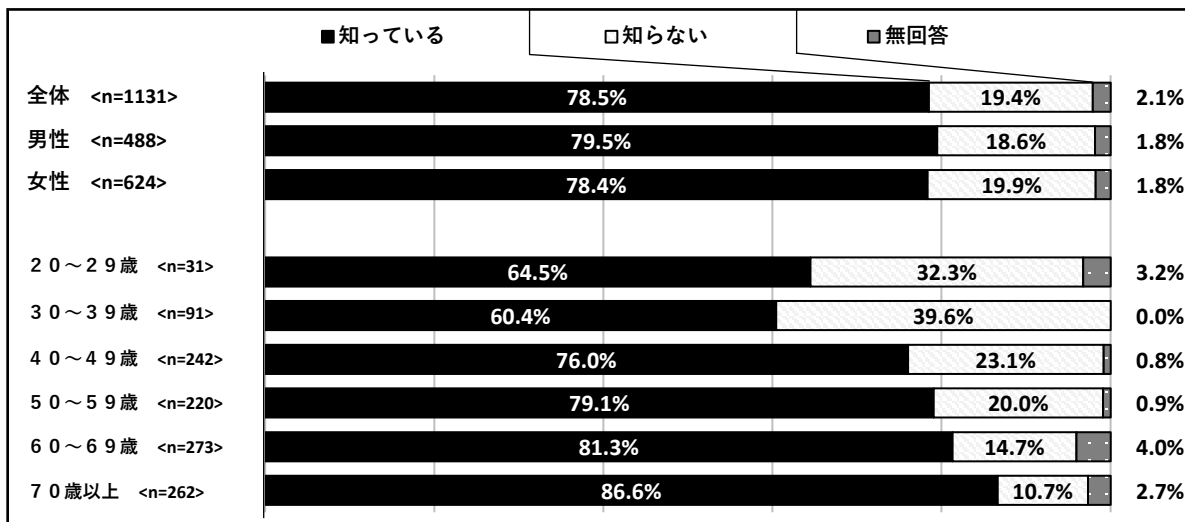
また、人権侵害の経験が「ある」と回答した人(131人)について内容を聞いたところ、最も多い人権侵害は「あらぬ噂をたてられたり、悪口・かげ口を言われたりした」で5割を超えます。



(3) 部落差別（同和問題）

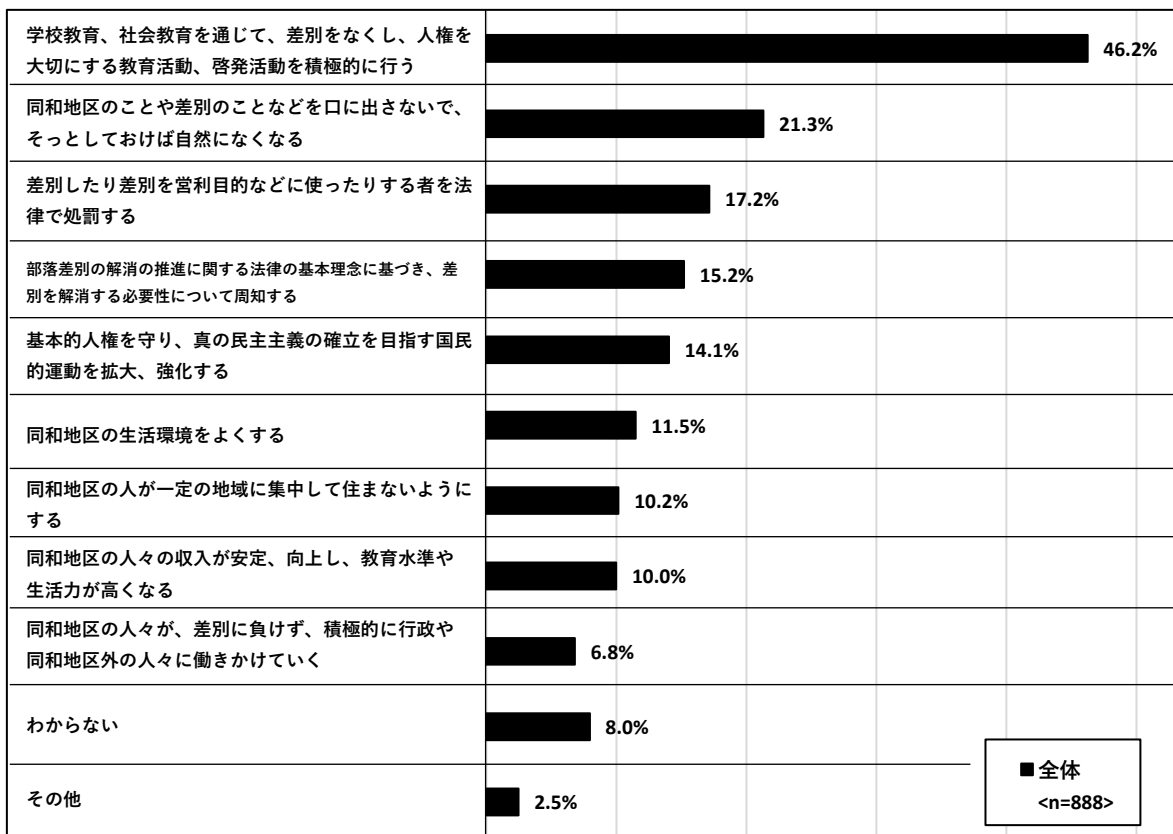
設問：あなたは「同和地区」（部落）と呼ばれている地区があること、あるいは「同和問題」、「部落差別」と言われる問題を知っていますか。

約8割の人は同和問題を「知っている」と答えています。



設問：同和問題を解決するためには、どのようにしたらよいと思いますか。

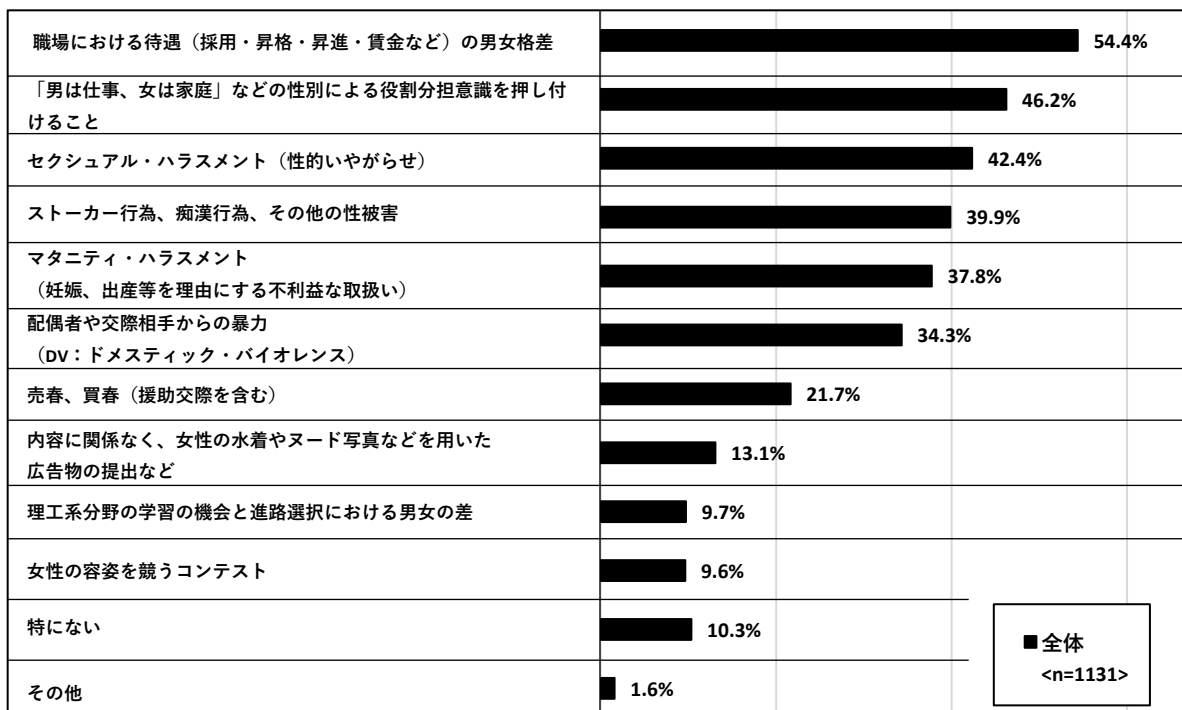
「学校教育、社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動、啓発活動を積極的に行う」が4割を超えて最も高くなっています。



(4) 女性の人権

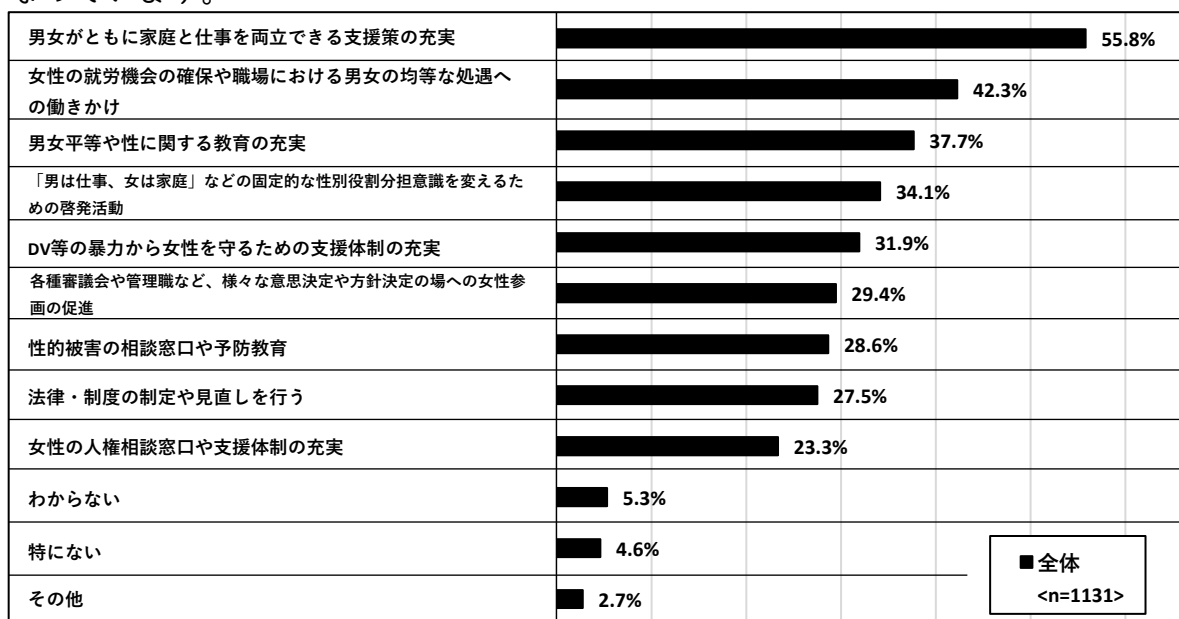
設問：女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことですか。

「職場における待遇（採用・昇格・昇進・賃金など）の男女格差」の項目で5割以上の人が女性の人権が尊重されていないと感じています。



設問：女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

「男女がともに家庭と仕事を両立できる支援策の充実」が5割を超えて最も高くなっています。



(5) こどもの人権

設問：こどもに関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのは、どのようなことですか。

半数以上が「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをする、あるいはさせたりするなど、いじめをすること」と「保護者などがこどもを、身体的、心理的、性的に虐待したり、育児を放棄したりすること」を指摘しています。

仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをする、あるいはさせたりするなど、いじめをすること	62.4%			
保護者などがこどもを、身体的、心理的、性的に虐待したり、育児を放棄したりすること	58.2%			
いじめをしたり、されたりしているのを見て見ぬふりをする	32.3%			
教師による言葉の暴力や体罰を加えること	28.5%			
無料通信アプリやSNS等を用いて、特定の人物を誹謗中傷すること	26.0%			
こどもの虐待に気づいても、関係機関に通告せず見て見ぬふりをする	21.9%			
出会い系サイトやSNS等の書き込みなど、暴力や性についてこどもにとって有害な情報があること	17.0%			
児童買春・売春、児童ポルノなど	15.6%			
学校や就職先の選択などに関するこどもの意見を、大人が無視したり、考えを押し付けたりすること	14.0%			
わからない	2.7%			
その他	0.2%			

■全体
<n=1131>

設問：こどもの人権を守るために必要なことは、どのようなことだと思いますか。

「こどもに自分を大切にすることや他人への思いやりを教える」が約5割で最も高くなっています。

こどもに自分を大切にすることや他人への思いやりを教える	49.2%			
児童虐待や性犯罪など、こどもが被害者となる犯罪の取締りや罰則を強化する	33.5%			
こどものための相談体制を充実する	31.9%			
家族の中でお互いの人権を尊重して温かい家庭をつくる	31.7%			
教師への研修を充実して教師の能力や資質を高める	31.5%			
こどもの人権を守るための教育や啓発活動を推進する	26.4%			
こどもの個性や自主性を尊重し、大人の考え方を押し付けない	20.8%			
地域の人々が他人のこどもに関心を持って接する	19.1%			
インターネットや携帯電話の利用等に係る規制を強化する	18.9%			
わからない	2.4%			
その他	1.3%			

■全体
<n=1131>

(6) 高齢者の人権

設問：高齢者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのは、どのようなことですか。

「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多い」が約3割で最も高くなっています。

悪徳商法、特殊詐欺の被害が多い	27.8%
高齢者の身体機能の衰えに対する周囲の理解が不足している	26.0%
家庭や地域社会から孤立している人が多い	22.3%
経済的な保障が不十分な人がいる	21.1%
まちの中で暮らしていくのに不便が多い	17.6%
認知症に対する理解が乏しい	15.6%
病気などになったとき、十分な看護や介護が受けられない	14.5%
知識や経験を生かす場が少ない	10.6%
高齢者に対する虐待がある	9.4%
アパートなど住宅への入居を断られることがある	8.6%
高齢者の意見や行動が尊重されない	4.6%
わからない	6.1%
その他	0.6%

■全体
<n=1131>

設問：高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「高齢者の生活の安定を図る」ことが4割を超えて最も高くなっています。

高齢者の生活の安定を図る	41.4%
高齢者に対する相談や支援体制を充実させる	33.1%
高齢者の生涯学習、ボランティア活動、就業の機会を増やす	30.6%
高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる	21.5%
建物のバリアフリー化等の整備や公共交通機関の改善を行う	21.5%
高齢者に対する尊厳や感謝の心を育てる機会を設ける	20.2%
高齢者一人ひとりにあった施策を充実させる	17.5%
行事を通じて高齢者の福祉に関心と理解を深める	15.5%
成年後見制度の周知と利用促進	8.5%
わからない	5.3%
その他	1.0%

■全体
<n=1131>

(7) 障害者の人権

設問：障害者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのは、どのようなことですか。

「障害のある人や障害についての理解が不足している」が約6割で最も高くなっています。

障害のある人や障害についての理解が不足している	57.0%
就職・職場で不利な扱いを受ける	24.9%
まちの中で暮らしていくのに不便が多い	22.2%
地域社会から孤立しがちである	21.0%
障害者に対する虐待がある	11.5%
生活に必要な情報が入手しづらい	9.3%
アパートなど住宅への入居が困難である	6.2%
結婚問題で周囲から反対を受けることがある	4.6%
わからない	10.3%
その他	1.0%

■全体
<n=1131>

設問：障害者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「相談・支援体制の充実」が4割で最も高くなっています。また、「就労支援や雇用確保（障害者雇用率の達成）」、「障害のある人を正しく理解するための教育や啓発活動」が3割を超えます。

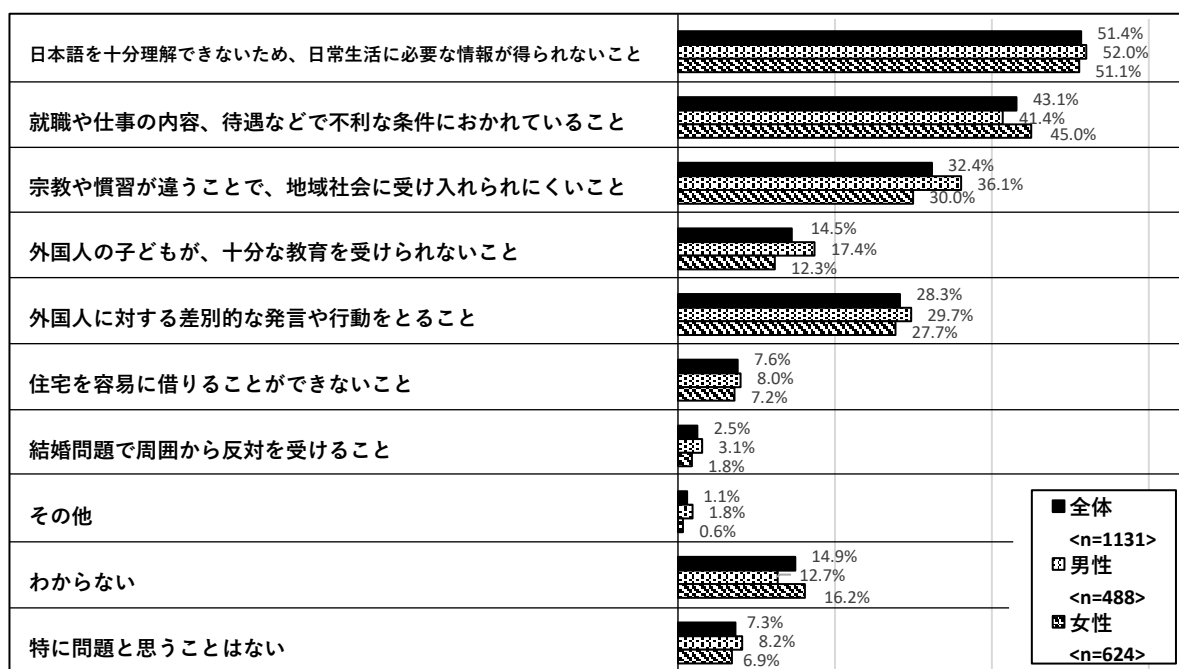
相談・支援体制の充実	40.0%
就労支援や雇用確保（障害者雇用率の達成）	35.2%
障害のある人を正しく理解するための教育や啓発活動	34.4%
障害者が使いやすいような道路や施設などの環境整備	28.2%
障害のある人とない人との交流促進	15.4%
スポーツや文化活動など、障害者の社会参加の促進	9.4%
成年後見制度の周知と利用促進	4.5%
わからない	7.0%
その他	1.1%

■全体
<n=1131>

(8) 外国籍の人の人権

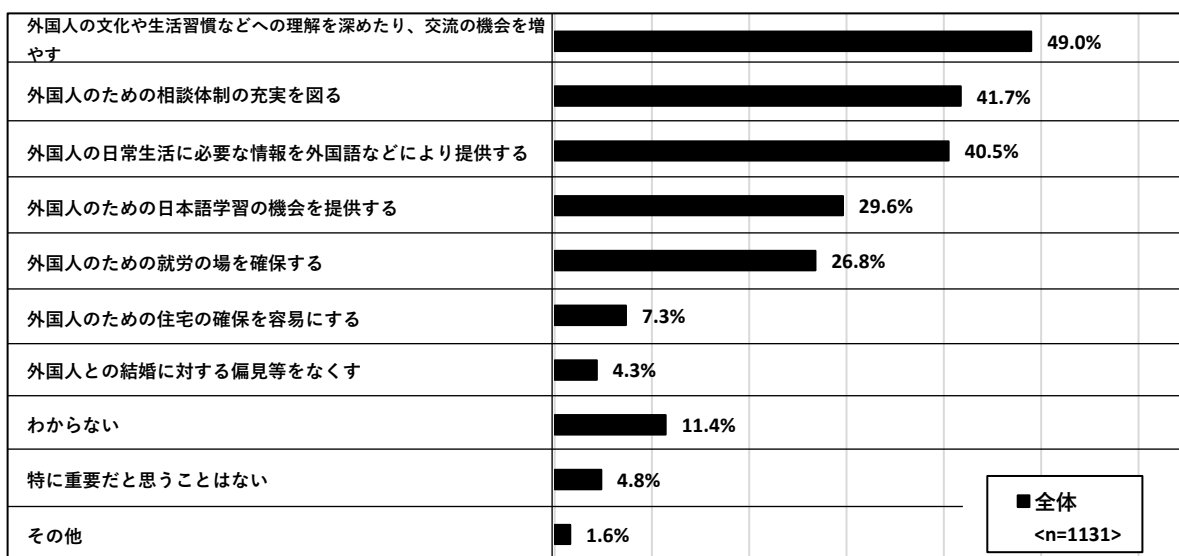
設問：外国人の人権について問題があると思うものを選んでください。

「日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報が得られないこと」が5割を超えて最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること」となっています。



設問：外国人の人権を守るためには、どのようなことが重要だと思いますか。

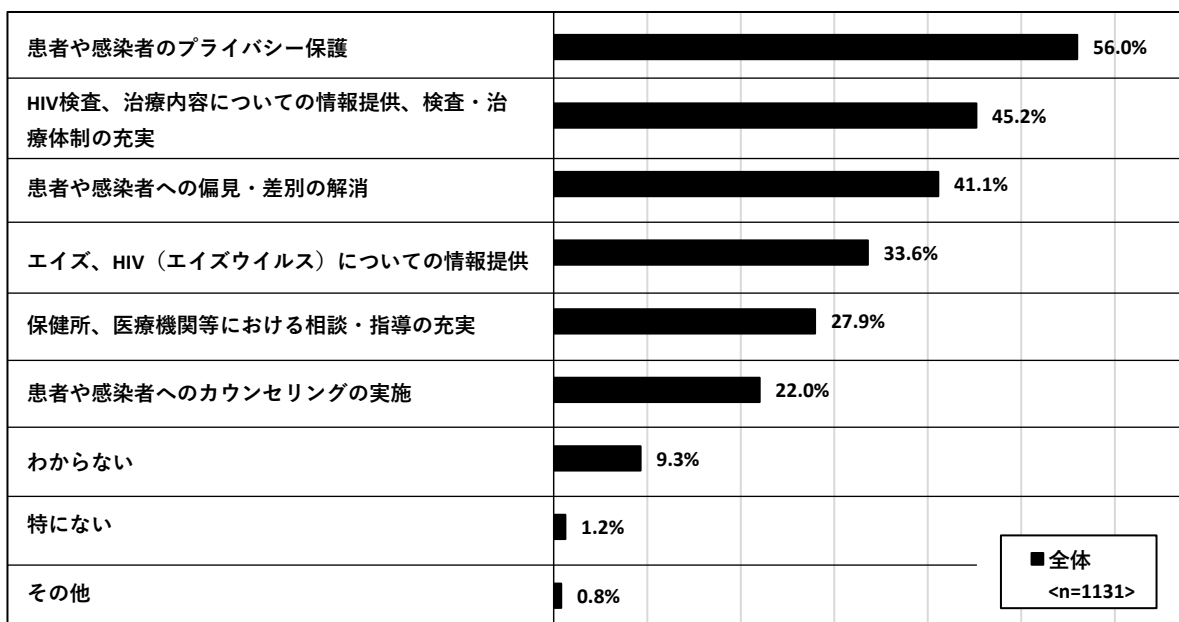
「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深めたり、交流の機会を増やす」が約5割で最も高くなっています。また、「外国人のための相談体制の充実を図る」と「外国人の日常生活に必要な情報を外国語などにより提供する」が4割を超えています。



(9) HIV等感染症に関する人権

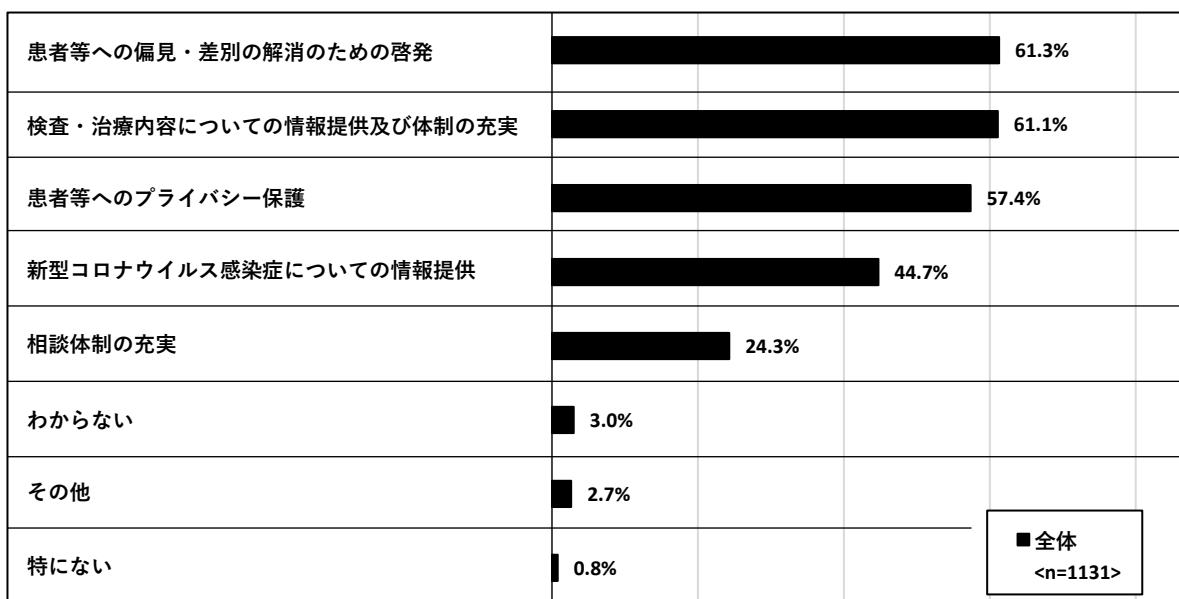
設問：エイズ患者、HIV感染者の人権を守るために、必要なことはどのようなことだと思いますか。

「患者や感染者のプライバシー保護」が5割を超えて最も高くなっています。



設問：新型コロナウイルス感染症患者やその家族、医療従事者等の人権を守るために必要なことは何ですか。

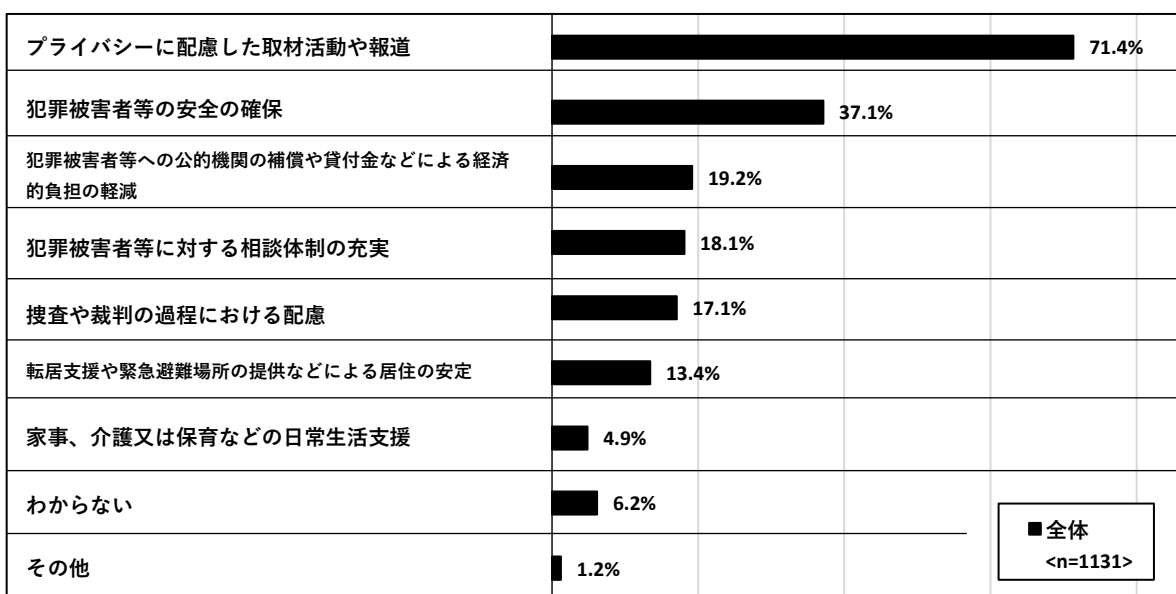
「患者等への偏見・差別の解消のための啓発」が最も高く、次いで「検査・治療内容についての情報提供及び体制の充実」となっており、それぞれ6割を超えています。



(10) 犯罪被害者やその家族の人権

設問：犯罪被害者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか

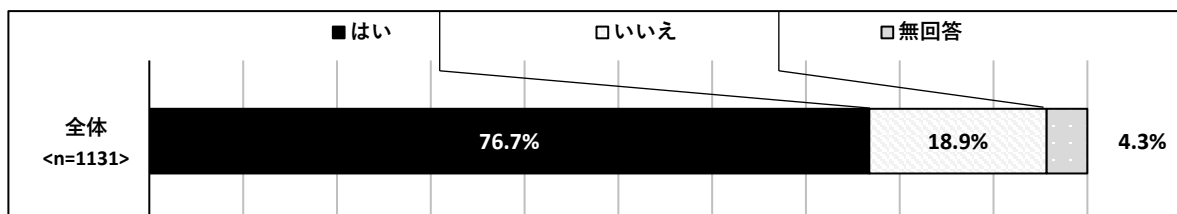
「プライバシーに配慮した取材活動や報道」が7割を超えて圧倒的に高くなっています。



(11) 性的マイノリティ（LGBTQ）の人権

設問：あなたはセクシュアルマイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。

「知っている」と答えた人は、約8割です。



設問：セクシュアルマイノリティ（LGBT）に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのは、どのようなことですか。

「セクシュアルマイノリティに対する周囲の理解が不足している」が約5割となっています。

セクシュアルマイノリティに対する周囲の理解が不足している	49.2%				
家庭や学校、職場などで理解されないこと	28.6%				
セクシュアルマイノリティに対する差別的な発言や行動をとること	23.9%				
個人のセクシュアリティに関する周囲のうわさ話やSNS上の情報	19.0%				
公的機関や企業から不当な扱いを受けること	16.0%				
同性婚が認められないこと	12.3%				
就職・職場で不利な扱いを受けること	11.9%				
性別で区分された設備（トイレなど）が使いにくいこと	11.8%				
申請書などの性別欄が男性または女性しかないこと	7.2%				
病院や医療支援にかかりにくいこと	4.7%				
同性カップルでアパート等への入居を断られること	3.2%				
わからない	19.5%				
その他	0.8%				

■全体
<n=1131>

(12) インターネット等による人権侵害

設問：インターネットの悪用による人権侵害を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「違法な情報発信者に対する監視、取締りを強化する」が7割を超えて最も高くなっています。

違法な情報発信者に対する監視、取締りを強化する	75.9%				
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	47.1%				
学童期における情報モラル教育を充実する	22.7%				
インターネットにより被害を受けた人のための相談・救済体制を充実する	19.6%				
インターネット利用者やプロバイダに対して啓発活動を推進する	9.3%				
わからない	5.4%				
その他	1.0%				

■全体
<n=1131>